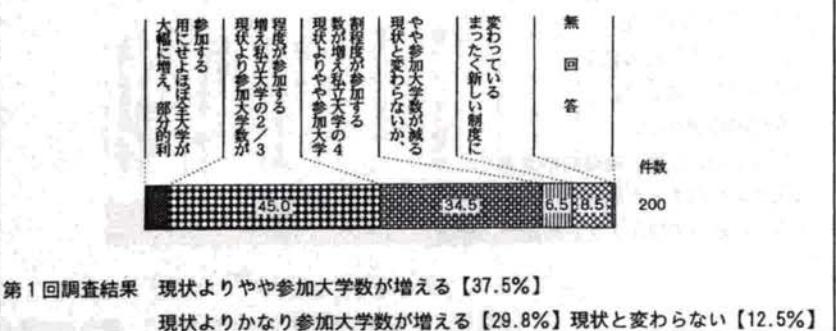


Q17. センター試験

	合計	一回目調査						合計	二回目調査						合計	200	10	90	69	13	17	0.5	
		現状より参加大学数が増える	現状よりやや参加大学数が増える	現状より委わらない	現状より参加大学数が減る	まったく新しい制度にまつたっている	無回答		大用にせよほん部分的利が	現度が参立する	現度が立参加する	現度が増える	現度が増える	現度が増える	現度が増える	現度が増える	現度が増える	現度が増える	現度が増える	現度が増える	無回答		
性別	合計	104 100.0	31 29.8	39 37.5	13 12.5	4 3.8	10 9.6	7 6.7	200 100.0	10 5.0	90 45.0	69 34.5	13 6.5	17 8.5	0.5 0.5	合計	200 100.0	10 5.0	90 45.0	69 34.5	13 6.5	17 8.5	0.5 0.5
性別	男	96 100.0	28 29.2	35 36.5	12 12.5	4 4.2	10 10.4	7 7.3	184 100.0	9 4.9	82 44.6	63 34.2	12 6.5	17 9.2	1 0.5	性別	200 100.0	10 5.0	90 45.0	69 34.5	13 6.5	17 8.5	0.5 0.5
性別	女	8 100.0	3 37.5	4 50.0	1 12.5	- -	- -	- -	16 100.0	1 6.3	8 50.0	6 37.5	6 6.3	1 -	- -	性別	200 100.0	10 5.0	90 45.0	69 34.5	13 6.5	17 8.5	0.5 0.5
年齢	20才代	- 100.0	- 50.0	- 33.3	- 16.7	- 1	- -	- -	2 100.0	- -	1 50.0	- -	- -	- -	1 -	年齢	2 100.0	- -	1 50.0	- -	- -	- -	- -
年齢	30才代	6 100.0	3 50.0	2 33.3	1 16.7	- -	- -	- -	11 100.0	- -	6 54.5	2 18.2	3 27.3	- -	- -	年齢	11 100.0	- -	6 54.5	2 18.2	3 27.3	- -	- -
年齢	40才代	17 100.0	5 29.4	4 23.5	1 5.9	1 5.9	5 29.4	1 5.9	43 100.0	4 9.3	18 41.9	14 32.6	1 2.3	5 11.6	1 2.3	年齢	43 100.0	4 9.3	18 41.9	14 32.6	1 1.6	5 11.6	1 2.3
年齢	50才代	14 100.0	5 35.7	6 42.9	- -	- -	- -	- -	37 100.0	1 2.7	13 35.1	15 40.5	1 2.7	7 18.9	- -	年齢	37 100.0	1 2.7	13 35.1	15 40.5	1 7	7 18.9	- -
年齢	60才代	40 100.0	10 25.0	19 47.5	7 17.5	- -	- -	- -	66 100.0	5 7.6	28 42.4	24 36.4	7 10.6	2 3.0	- -	年齢	66 100.0	5 7.6	28 42.4	24 36.4	7 3.0	2 -	- -
年齢	70才代	23 100.0	7 30.4	8 34.8	4 17.4	2 8.7	- -	- -	37 100.0	- -	22 59.5	13 35.1	- -	2 5.4	- -	年齢	37 100.0	- -	22 59.5	13 35.1	- -	2 5.4	- -
年齢	80才代	2 100.0	- -	- -	- -	1 50.0	1 50.0	- -	1 100.0	- -	100 100.0	- -	- -	- -	- -	年齢	1 100.0	- -	100 100.0	- -	- -	- -	- -
年齢	90才代	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 100.0	- -	100 100.0	- -	- -	- -	- -	年齢	1 100.0	- -	100 100.0	- -	- -	- -	- -

Q17. 2010年における「センター試験」などの共通試験はどうなっているか？



「現状より参加大学数が増え、私立大学の2/3程度が参加する」が45.0%でもっとも多く、次いで「現状より参加大学数が増え、私立大学の4割程度が参加する」が34.5%で続いている。

「まったく新しい制度に変わっている」は8.5%で、第1回調査の9.6%とほぼ同じ比率となっている。

<自由回答まとめ(1回目調査)>

Q17. 2010年のセンター試験に関する予測

Q17-A. 予測の理由・根拠

(現状より参加大学数が増えると思う理由)

- 文部省の政策によるため。
- 新しい学力観の追求により、問題作成が学校の負担になるため。
- 入試多様化の一環としてのため。
- テストの公平化のため。
- 入試コストの低減化のため。
- 大学の横並び意識のため。

(現状と変わらないと思う理由)

- 私立受験生は多くの科目を勉強する必要がないため。
- 小規模大学ではセンター試験の必要性を感じないため。

(現状より参加大学数が減ると思う理由)

- 入試の多様化が進むため。

(新しい制度に変わっていると思う理由)

- 電子文明による試験方法の変更が生まれるため。
- 地方国立大学不人気による足並の乱れが生まれるため。
- 大学間競争が激しくなり、学生の確保が重要になるため。
- 画一試験への反発が増大するため。

Q17-B. その結果、何が最も変わるか

(現状より参加大学数が増えた場合)

- 二次試験の多様化。
- 大学格差の評価が自ずと定まる。
- 学歴、有名校志向はある程度おさまる。
- センター試験は一定レベルに達しているかどうかのチェックのためのものとなる。
- 私立大の個性が喪失する。
- 予備校、塾の大規模化。
- 難しい試験でなくなる。

(新しい制度に変わった場合)

- 大学入試の意味と役割が変化する。
- 卒業資格試験が検討される。
- 受験戦争が是正され、入試そのものが無くなっているかもしれない。